

岩見沢市

## 緑の相談コーナーだより

N O. 316 2011. 10. 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木 “カキ”（柿）

### ～秋を彩る赤い実は日本が世界に誇る果物～



#### カキ

*Diospyros kaki* Thunb. ex Murray

ひろく地球上に生育していたようです。

カキノキ科カキノキ属の落葉高木で、日本、朝鮮半島、中国原産の果樹とされます。中国揚子江岸が原産とする説もありますが、岐阜県内の第三紀層から果実の化石が発見されており、平安遺跡からも既にカキの種が出てくることから、日本原生と考えられています。しかも、日本人が改良した日本の代表的果物とされ、中国人の桃、ラテン系民族のブドウ、アングロサクソン民族のリンゴと並び賞されます。カキの栽培は東北以南とされますが、近年本道でも道南や道央でこの実が色づいているのを見かけるようになりました。なお、カキノキ属の樹木は、アフリカ以外の熱帯、亜熱帯に約 200 種あり、太古には

カキは紅葉も美しく、葉が落ちて深紅に熟れた実が残っているのはさらに美しく、日本の村里の秋を彩る風物詩となっております。また、この美しさに魅せられた佐賀県有田の陶工柿右衛門の名は有名です。カキの特徴として、香りがないことと渋味をもっていることがあげられます。この渋味は、果実中のタンニン細胞にあるシブオールという成分が溶け出るためだそうで、これが不溶性となれば、渋味がなくなるそうです。したがって、樹上で不溶性となるのが、甘柿だそうです。しかし、甘柿も果実の発育期間中に温度が不足すると不溶性とならず、渋が残ります。したがって、甘柿の栽培は、東北地方の南部以南に限られてしまうのです。なお、渋柿は干したり、アルコールでさらすと甘くなります。

カキの名の由来ですが、「カキはアカキ（赤黄）より来る。紅葉の色と果の色に因る」といわれ、李白の詩「桑条初めて緑なるとき即ち別をなし柿葉半紅なるとき猶未

だ帰らず」の詩中にも朱果の文字があるといいます。学名はギリシャ語 dios 「神」 pyros 「果実」の合字で、ローマ時代の文献にこの名が多くてくるそうです。因みに、古代ペルシャやインドではカキは聖果でもありました。

わが国でカキを賞したのは、古代では紅葉の美にあったようで、古歌や俳句に「かきもみじ」の表現が多く用いられています。寂蓮法師の「山里はかきの紅葉に鳩なきて時雨も降りぬ風もさむし」の歌などは、近代調でよくかきもみじを現わしています。

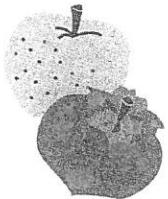
カキの用途は、材は堅く、辺材は黄色、心材は黒色で、高級家具に愛用されています。唐木の黒檀もカキ科の植物で、心材のみを使っています。未熟なカキの実からとった漬は、家具調度品や紙、網などの強化剤、防腐剤とされます。

柿の木の記憶は父の肩車 小林瑠璃

柿食ふや遠くかなしき母の顔 石田波郷



## 公園だより



### バラ園

秋冷の季節となり、朝夕は急激に気温が下がって、北国の自然は、この時期劇的な変化を見せます。今年は、春の低温の後は、初夏の高温と真夏の干天・猛暑が続き、秋に入つては長雨が続きました。このため、バラの花は日持ちが短かかったり、黒点病やウドンコ病に悩まされた方も多かったのではと推察しております。10月のバラ園では、裏山の木々が色づきを増し、木枯らしの前のひととき、錦を織りなします。この錦きん繡しゅうをバックに、白露をまとったバラが、凛とした気品と哀愁に満ちた姿を見せてくれることでしょう。今年のバラ園のフィナーレをぜひ楽しんで頂きますようご案内いたします。

♥今月のバラ園からの一口メモは、秋バラの開花後の処理についてです。気温が下がるにつれて、冷涼な空気にふれたバラは、花もちがよく、色も香りも初夏の花に優るもののが期待されます。しかし、花が終わったら、すぐに花がらを摘みとりましょう。基本的には、満開後3日くらいに本葉（5枚葉）を2枚つけて、3枚目の上で切り戻して下さい。ただし、北海道ではもうすぐ休眠期を迎えます。バラの木を充実させるためにも、葉はできるだけ残すようにしましょう。

室内公園色彩館では、クリーム色の半剣弁ロゼット咲のチャイコフスキーやラベンダー色のシャルルドゥゴールなどのモダンローズが咲いています。また、サザンカやツバキ、ハナミズキなどの木に蕾がついて、日に日にふくらみを増してきています。

南国温室では、三尺バナナの実がいよいよ収穫期に近づいております。また、パキラの実も初めて稔ってきました。パキラは熱帯アメリカ原産の木で、種子を包む果肉は食用とされます。どんな味がするのか楽しみですね！

## 相談日記

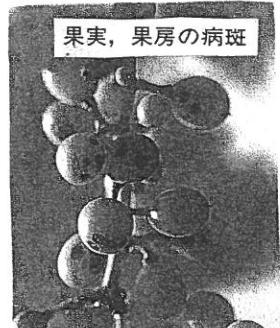
**問** 家庭果樹にブドウを植えて3年になります。今年から果実も実りはじめ、収穫を楽しみにしていました。ところが、果実が育つてくるにつれ、中心部が灰白色で、まわりが紫色の鳥の目のような、小紋染め状の斑点がたくさん出来て拡大してきました。よくみると、新ヅルにも同じような淡褐色の小さな楕円形や円形の斑紋が広がっています。このため、果実は熟しても硬く、見てくれも悪く、ほとんど食べることができません。これは何が原因なのでしょうか？また、どのように対処すれば良いか治療法や対策などがあれば知りたいのですが。

**答** 果実やツルの病斑が、いずれも鳥の目状で非常にはっきりしていることから、ブドウのコクトウ病と思われます。ブドウの若葉をはじめ花穂、幼果、新ヅル、巻きひげなど、あらゆる柔らかい緑色の部分を侵して病斑をつくります。開花前の新梢に発生すると、葉に淡褐色の小斑が現れ、しだいに黒褐色に変わり、葉が生育するにしたがって病斑部に割れ目ができたり、孔があくこともあります。また、生育の不均衡から、葉がゆがんだり、裏側に巻き込んだりします。欧洲系のブドウでは、とくにコクトウ病が発生しやすいので注意が必要です。

**発生しやすい条件** この病気は、生育前半に雨が多い年は多発しやすく、冷雨がつづくと激しく伝染し、風をともなった雨の時は広範囲にひろがります。また、植え付け当年から、3～4年までくらいの若木に発病しやすく、成木でもチツソ肥料を施しすぎて軟弱に育ち、徒長すると発生が多いようです。

**防除のポイント** 発芽後間もない、柔らかい新梢時代から激発するので、防除の重点を休眠期の薬剤散布におくことがポイントです。防除薬剤はベフラン液剤やトモテク水和剤を用い、石灰硫黄合剤20倍液と混用し、病害虫と同時防除を行うといでしよう。生育期はボルドー液やマンネブ剤、チオファメートメチル剤を予防散布します。また、発芽前散布に先立って、棚の鉄線などに残っている巻きひげを処分しておくことも大切です。巻きひげは雨上がりにとると柔らかく、楽に取ることができます。

斑点大	円形、ややへこみ鳥の目状の 斑点.....コクトウ病
小粒果	無核小粒、裂果.....ほう素欠乏症 小粒で固くなる (石ブドウ)、裂果.....ウドンコ病



## 日本の秋に溶け込んでしまった花～コスモス 花言葉 乙女のまごころ



キク科コスモス属の1年草で、メキシコ原産の植物です。コロンブスのアメリカ大陸発見後ヨーロッパに渡り、江戸末期に日本に渡来した、わが国にとっては比較的新しい花ですが、今では日本の秋を彩る花の1つとなっています。秋風にそよぐピンクや紅色の花は、清純な乙女を思わせるところがあります。花は優しげですが、台風のあとも立ち直って、思わず逞しさをみせます。強健な草花で、一度つくると毎年こぼれ種で芽を出し、群生・開花します。もともと日が短くなると花芽ができる短日植物ですが、最近では日長に関係なく咲く品種も多いようです。植物名 *Cosmos* の由来は、ギリシャ語で「飾り、美麗」を意味します。別名・和名として、アキザクラ（秋桜）、大春車菊などの名もありますが、あまり使われません。切り花の場合、水切りを行い、水あげの悪い場合は、湯上げをします。見所として有名なのは、長野県の黒姫高原や本道の遠軽町のコスモス畑などがあります。

## 10～11月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣ 収穫野菜の加工・貯蔵

日時 10月 9日（日） 13：00～15：00

講師 (有)アグリカルチャーひろし 北村 博 さん 定員 40人 参加料 無料



#### ♣ 庭木の冬囲い方法

日時 10月 16日（日） 13：00～15：00

講師 馬渕建設（株）久保 隆 さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 花木・庭木の剪定と管理

日時 10月 23日（日） 13：00～15：00

講師 樹木医 福士 正明 さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 冬の室内植物管理のポイント

日時 11月 6日（日） 13：00～15：00

講師 緑化相談員（樹木医）泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで